

# 患者さんは、 私に合った治療 を望んでいます。

がん薬物療法は、日々進化しています。  
患者さんのQOLをサポートするプロフェSSIONナルとして、  
薬物療法の最新情報を知り、さらにレベルアップをめざしませんか。

この講座は、薬剤師はもちろん、看護、医療など、  
がん治療に関わるすべての人が対象です。ぜひご参加ください。

向き合う  
支え合う  
立ち向う

入場無料  
どなたでも  
ご参加いただけます

第2回 北陸がんプロフェSSIONナル養成プログラム公開講座

文部科学省 がんプロフェSSIONナル養成プラン

日時：平成20年6月21日(土) 13:00~16:00 (開場 12:30)

会場：富山国際会議場 2階 多目的会議室

講演 「分子標的薬とは? —基礎研究の視点から—」

矢守 隆夫先生 [(財)癌研究会 癌化学療法センター 分子薬理部長]

「漢方薬によるがん転移の抑制に関する基礎的研究」

済木 育夫先生 [富山大学和漢医薬学総合研究所長・病理生化学分野教授]

「がん看護における推進と看護専門職によるEBNの実践 —OCNSの立場から—」

田墨 恵子先生 [大阪大学医学部附属病院オンコロジーセンター看護部長・副センター長 がん看護専門看護師]

主催：富山大学、北陸がんプロフェSSIONナル養成プログラム

後援：富山県、富山市、富山県がん診療連携協議会、富山県医師会、富山県看護協会、富山県病院薬剤師会

申込・問合せ：北陸がんプロフェSSIONナル養成プログラム事務局 (生活ネット研究所内) 〒939-8063 富山市小杉120 TEL 076-429-5708



JR富山駅前より  
○徒歩で約15分  
○地鉄バス約5分「城址公園前」下車、徒歩3分  
○市電富山大学行き乗車、約5分「丸の内」下車、徒歩3分  
駐車場数(有料)に限りがございますので、なるべく公共交通機関をご利用ください。

# 第2回 北陸がんプロフェッショナル 養成プログラム公開講座

入場無料  
どなたでも  
ご参加いただけます

## Schedule

**13:00** 開会あいさつ 畑中 保丸先生 [富山大学薬学部長]

**13:10** 「分子標的薬とは?—基礎研究の視点から—」 矢守 隆夫先生 [(財)癌研究会 癌化学療法センター 分子薬理部長]

- ▼ 抗がん剤のもつべき特徴は、がんへの選択性が高く、副作用が少ない、ということである。従来の抗がん剤は、残念なことに毒性の強いものが多かった。ところが最近になって、高い選択性を備えた分子標的薬が開発され、実用化されつつある。正常細胞よりもがん細胞に多く発現し、がん細胞の悪い性質を司っているようなタンパク質分子、すなわち、がんのアキレス腱に相当する分子をめがけて攻撃するのが分子標的薬である。本講座では、「分子標的薬とは?」をテーマに、その基盤となるコンセプト、実例を解説し、私共が手がけている最前線の分子標的薬の開発についても紹介したい。

■矢守 隆夫先生 プロフィール

1978年4月 (財)癌研究会癌化学療法センター基礎研究部 研究助手、1987年7月 同 研究員、1993年9月 同 主任研究員、1995年10月 同 副部長、2000年1月より(財)癌研究会癌化学療法センター分子薬理部 部長。  
兼任公職として、2004年4月より東邦大学薬学部 客員教授、東京大学薬学部 非常勤講師、2008年5月より理化学研究所 客員研究員 他。

**14:00** 「漢方薬によるがん転移の抑制に関する基礎的研究」 済木 育夫先生 [富山大学和漢医薬学総合研究所長・病態生化学分野教授]

- ▼ がん治療の中心は近代西洋医学の進歩とともに、外科療法、放射線療法、あるいは化学療法などが主なものであるが、進行がん患者に強力な化学療法や放射線療法を行い、一過性に腫瘍が縮小しても、その後、再発や転移することが少なくなく、がん患者のQOL(生活の質、quality of life)が著しく損なわれる原因の一つとなっている。これに加えて免疫療法も注目を集めており、主に生体内の「ミクロの戦士」である免疫系の細胞を活性化させ抗腫瘍・抗転移効果を誘導させる治療法がある。最近では、がん治療の免疫を調節する薬剤の一つとして漢方薬が注目され、数多くの報告がなされている。漢方薬のがん転移を抑制する効果とその仕組みについて紹介する。

■済木 育夫先生 プロフィール

1979年11月北海道大学免疫科学研究所 助手、1992年11月同研究所 助教授。  
1993年12月富山医科薬科大学和漢薬研究所 病態生化学部門教授。2005年10月富山大学和漢医薬学総合研究所 病態生化学分野教授(国立三大学統合により研究所の名称変更)。2006年4月より富山大学和漢医薬学総合研究所 所長、同年12月北京大学医学部 客座教授に就任。

**14:50** 休憩

**15:00** 「がん看護における推進と看護専門職によるEBNの実践—OCNSの立場から—」 田墨 恵子先生 [大阪大学医学部附属病院オンコロジセンター 看護師長・副センター長 がん看護専門看護師]

- ▼ OCNS(がん看護専門看護師)は、がん患者のQOL向上に広く貢献します。1996年から、現在までに104名のOCNSが認定されています。OCNSは、大学院教育でEBNに基づくケアが実践できるよう臨床トレーニングを受け、また問題を探求する方法を学んでいます。臨床では、大学院でのトレーニングを基盤として、ケアを変え、看護の質をあげることに貢献します。がんプロフェッショナルプランにより、これまで以上に多くのOCNSが育成され、数年後には、臨床現場のがん看護のリーダーシップをとってくれることに期待がかかります。

■田墨 恵子先生 プロフィール

1986年3月神戸大学医療技術短期大学看護学科 卒業。2000年4月兵庫県立大学大学院修士課程看護学研究科入学。2002年3月同修了。  
1986年4月大阪大学医学部附属病院 看護婦。1996年4月同病院 副師長。進学を経て2002年4月大阪大学医学部附属病院 副看護師長。2004年4月同病院 看護師長。現在、オンコロジセンター看護師長 副センター長、キャリア開発センター(兼任)

**15:50** 閉会あいさつ 小林 正先生 [富山大学附属病院長]

受講希望の方は、下の受講申込書をご記入の上 **FAX.076-428-9156**までお送りください。

※整理券は発行しません。当日会場(富山国際会議場)へお越しください。

# 第2回 北陸がんプロフェッショナル養成プログラム公開講座

## 受講申込書

右の枠内にご記入の上、6月18日(水)までに下記番号までFAXをお送りください。グループで参加の場合は代表者の氏名のみ記入し、グループの参加人数をお書きください。

**FAX.076-428-9156**

フリガナ	
氏名	
所属	参加人数(代表者含む) 名

※整理券は発行しません。当日会場(富山国際会議場)へお越しください。